

A woman with long brown hair, wearing a white blouse, is sitting at a table and smiling while presenting to a man and another woman. The man is on the left, wearing a light blue shirt, and the woman is in the middle, wearing a white lace top. They are all looking at a tablet or laptop on the table. The background is a bright window with a plant in the top left corner.

# MIDWIFE CONCIERGE

はたらく女性に本気で向き合う企業が導入する「**顧問助産師**」

多様な働き方と大切な家族の間に。

大切なことは「**顧問助産師**」が教えてくれる。

株式会社With Midwifeが提案する、これからの“はたらく”に欠かせない存在。  
「顧問助産師」は、はたらく中で生じる「性や生」・「子育て」に関する困りごとを  
Midwife (助産師)のスキルを活かして解決していきます。

産業医でもない、保健師でもない。

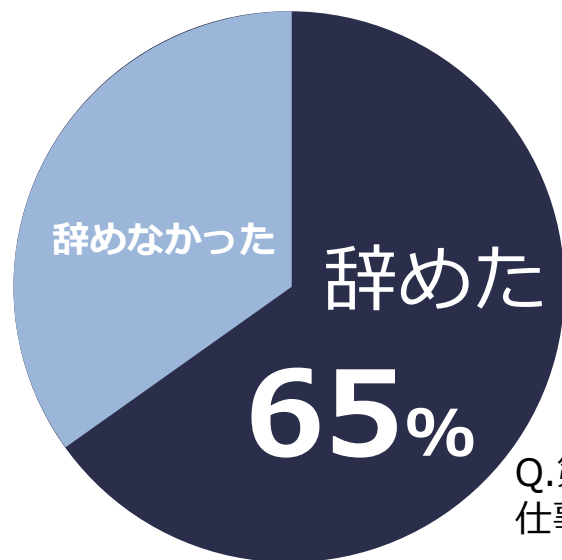
より女性に特化した、これからはたらくを支える新しい専門職です。

## ❖ Data

まず、はたらく女性や子育て家族のリアルを知ることで、向き合う課題が見えてきます

約**3人に2人**が妊娠・出産のタイミングで仕事を辞めています。  
その経済損失は、

**1.2兆円**と算出されています。



Q.第一子出産後に仕事は続けましたか？

引用:株式会社ゼネラルリンク「赤ちゃんの部屋」

取得した：**6.16%**



ほとんどの男性は  
**育児休暇取得が**  
**難しい!**

Q. (男性に)  
育児休暇は取得しましたか？

引用:厚生労働省「平成30年度雇用均等基本調査（速報版）」

月経周期に伴う**心身の変化**により、  
**仕事のパフォーマンスも変化**する

▶生理のある人の**45%**が**半分以下**に低下！

6点以上/10点中

**5点以下**

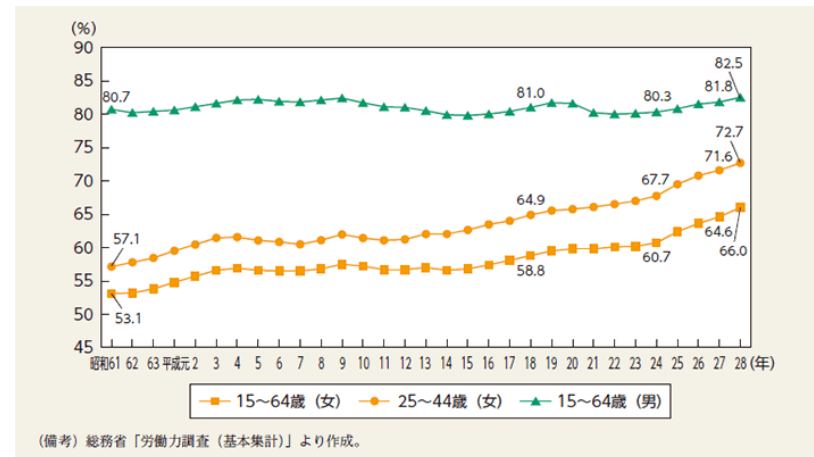
Q.PMS等によりパフォーマンスは何点になりますか？

引用:NPO法人日本医療政策機構「働く女性の健康増進に関する調査 2018」

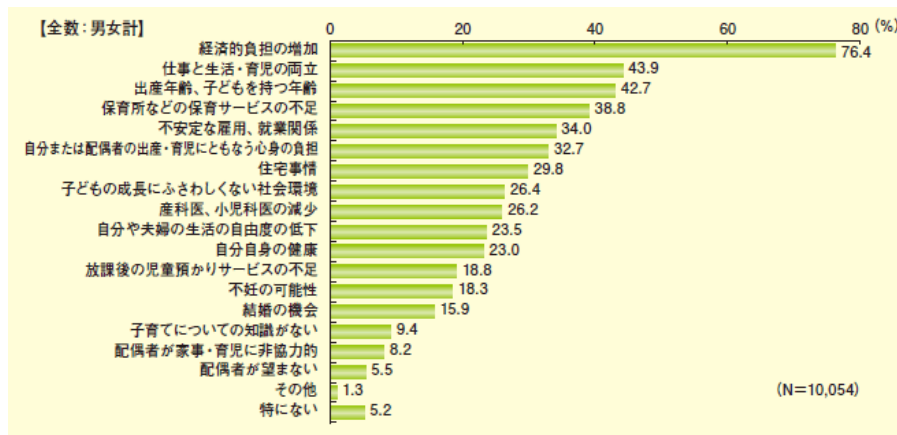
## ◆女性活躍と子育て環境

我が国の15歳以上から64歳までの生産年齢人口は平成7年（1995年）をピークに減少しており、就業者数は年々減少してきたが、平成25年から再び緩やかに増加に転じている。その背景には、65歳以上の就業者が男女ともに増加していることとともに、**65歳未満の女性の就業率が上昇**していることがある。子育て期の25～44歳の女性の就業率については、この30年間に15.6%上昇している。女性の就業率は未だに子育て期に落ち込むM字カーブになっているが、最近30年間にM字カーブの底は大幅に上昇し、窪みが浅くなるとともに、全体的に大きく上方にシフトしている。**▶つまり、「働く」と「育てる」を両立する女性が増えている。**

### 日本の就業率の推移



### 子供を持つ上での不安



内閣府「子ども・子育て白書」より抜粋

## ◆子育ての社会的背景

我が国の平成30年度の出生数は約86万人となり、平成28年に100万人を下回って以降たった3年で**14**万人も減少した。この背景には、もちろん出産年齢にあたる人口の減少も考えられるが、「働く」と「育てる」の両刀を求められる女性や家族の背景もある。左記の図でもわかるように、仕事と子育ての両立に対する不安は大きい。女性、またはその家族が不安なく子供を持つことが出来るようになるためには一つが「経済的支援」、もうひとつが「人的支援」が挙げられる。妊娠に向けた知識提供、仕事と育児の両立のためのパーソナルな支援、育児技術を教えるなどの手段的支援に、不安に寄り添う情緒的支援。

またこれらが、産後うつ(自殺は年間50人を超)や、0歳児の虐待死(80%は1か月以内)を防ぐためにも有効である。**▶この人的支援を担える人が必要。**

Midwife

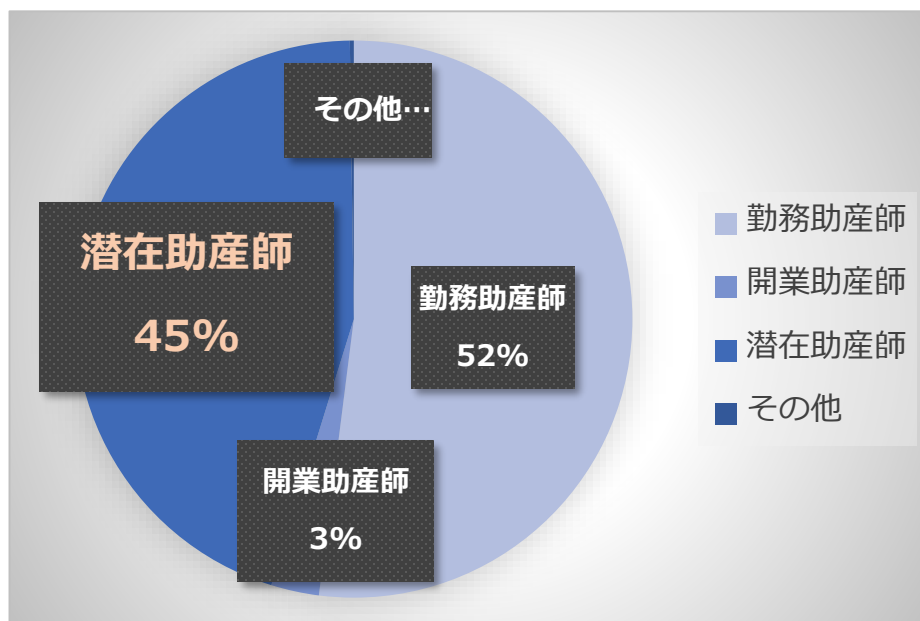


## ◆助産師とは

助産師とは、厚生労働大臣の免許を受けて、助産又は妊婦、じょく婦若しくは新生児の保健指導を行うことを業とする女子であり、看護師の上級職とされる。出産だけでなく、性教育や妊娠、育児、更年期など、女性の生涯に寄り添うことのできる職業として、開業権も認められている。

助産師(Midwife)の語源は、Mid=共にいる(寄り添う)、Wife=女性、つまり“寄り添う女性”のこと。一般の方には、「出産だけ」のイメージが強いが、私たちはMidwifeという言葉で、助産師のイメージを変えていき、その知識や経験をもっと社会に届けていきたいと考えている。

### 助産師の就業状況



## ◆なぜ今、助産師なのか

助産師は、看護師国家資格・助産師国家資格をもち、また多くの助産師は保健師国家資格も同時に有する。病院の外、出産現場以外でもその知識や技術で、健康と子育てを両立して支援できる唯一無二の専門職である。また、前述のように少子化やジェンダー、女性の健康や職場環境など助産師が介入できる社会課題も多い。

一方で、潜在助産師の存在は多大なる社会損失を生んでいる。

75歳以下(助産師会が定めた定年)の助産師免許有資格者は約7万人、そのうち約半数(32,387人)が眠っている潜在助産師である。

しかしこれはチャンスでもある。広く顧問助産師が広がり、潜在助産師がケアを社会に届けていく方法さえ確立すれば、35,000人の助産師が一丸となって社会課題に取り組むことが出来ると考えている。



# 働きながら育児を楽しむ応援プラン

～女性の働くを本気で応援する日本新薬グループ共済会様に、  
新しい育児と仕事の両立実現を～

株式会社 With Midwife

## ❖ 働きながら育児を楽しむ応援プラン

応援プラン「継続サポート2年コース」を例にご紹介します。

この他に、2年コースの「ショートコース」（自宅訪問サポートが付いていません。）や自宅訪問サポート（単発）の申込みもできます。

メール相談（随時 回数制限なし）& オンライン面談（2回）

妊娠がわかったら「顧問助産師」へ

産前休業前に不安は解消

約2年間  
継続サポート

復職前プチセミナー（1回）  
不安も多い復職前は仲間と共に

自宅訪問サポート（1回）  
産後の繊細な時期はプライベート相談

注) あくまで基本のタイミングです。ご希望のタイミングで対応します。

## ◆サポート内容とタイミング：妊娠発覚時

妊娠がわかったら、ご本人・上司（面談に入っていたかどうかは、ご本人の希望を優先）・顧問助産師でzoomを用いたオンライン面談を行います。

基本的には、産休のタイミングや業務上の配慮などが必要でないか3者で確認したあと、顧問助産師と本人の2者面談を行い妊娠中の体の変化や注意点、マイナートラブルや栄養に関するお話しを30分程度したあと、ご希望であればご質問などにお答えします。

またその後も無事に産休に入られるまで、継続的にメールでサポートしていきます。

### この時期に予想されるご相談

- ・働きながら通院する方の病院選びのポイント
- ・今後起こりやすいトラブルについて
- ・つわりについて
- ・どんなものを食べればいいのか
- ・仕事が赤ちゃんに対する影響について
- ・通勤手段や出張などについて
- ・受診のタイミング など



注) あくまで基本のタイミングです。ご希望のタイミングで対応します。

## ◆サポート内容とタイミング：産前休業前

産前休業に入る前のタイミングで再度、ご本人・上司（**面談に入っていたかどうかは、ご本人の希望を優先**）・顧問助産師でzoomを用いたオンライン面談を行います。基本的には、休業中の業務について、復職のタイミングについて、諸手続きについて3者で確認したあと、顧問助産師と本人の2者面談を行います。2者面談では妊娠後期の過ごし方やお産に向けての体作り、産後の過ごし方やサポート体制の確認などのお話を30分程度したあと、ご希望であればご質問などにお答えします。

またその後も出産に至るまで、継続的にメールでサポートしていきます。

### この時期に予想されるご相談

- ・ お産の方法について
- ・ 赤ちゃんの動き（胎動）について
- ・ 里帰りについて
- ・ 出産までの準備物品
- ・ 産後の支援体制、使える社会資源
- ・ 保育園・保育所の探し方
- ・ 入院のタイミング など

## ◆サポート内容とタイミング：出産後

ご出産後、ご自宅に訪問してサポートします。お産の経過や産後の状況、ご本人やお子様の健康状態を確認いたします。また、産後の過ごし方について、赤ちゃんの発達について、授乳について、育児の方法についてなど自由にご相談いただけます。

※次頁にて、自宅訪問サポートのご紹介をしています。

※ご希望により自宅訪問サポートをzoomを用いたオンライン相談に変更することができます。

### この時期に予想されるご相談

- ・ お産の経過について
- ・ 赤ちゃんの肌トラブル
- ・ 授乳方法や赤ちゃんのミルク量について
- ・ 赤ちゃんの体重について
- ・ 予防接種について
- ・ 産後の体について
- ・ 育児や家事のソーシャルサポートについて など

## ■ 自宅訪問サポートについて

### ◆ サポート内容

必要時、ご自宅に訪問してご本人様のお身体のケア、赤ちゃんのケア、授乳指導など助産ケアを行います。ご家族の支援が少ない方や、出産時トラブルがあった方などは積極的にご利用ください。

医療行為や医学的診断などは行うことはできませんのでご了承ください。

### ◆ サポート事例

- ・ ママの身体のケア
- ・ 赤ちゃんのケア
- ・ 赤ちゃんの発育を確認
- ・ 授乳指導などの助産ケア
- ・ おっぱいマッサージ
- ・ 骨盤矯正
- ・ アロママッサージ
- ・ 食育資格のある方助産師による栄養指導
- ・ 離乳食の作り方や始め方の1対1の指導
- ・ 家族全員に向けた沐浴指導
- ・ 産後に気を付けることの指導

その他わからないことや心配ごとがあれば、何でもご相談ください。



## ◆サポート内容とタイミング：復職前

「復職前プチセミナー」を実施（オンラインの場合もあります）、集団指導を基本的には対面で行います。（復職前プチセミナーがない場合などは個別面談を行うことも可能です。）

復職前プチセミナーでは、子育てをしながら働くためのコツやマインドのお話し、利用できる公的・民間サービスのご紹介、勤務中の授乳について、次のお子様の計画(家族計画)などについてなどをお話いたします。復職時点でサービス終了となりますが、引き続きメールでは継続的にサポートを続けていきます。

### この時期に予想されるご相談

- ・勤務時間の授乳・搾乳について
- ・お子様の発達について
- ・離乳食について
- ・家事と育児、仕事の両立について
- ・お子様の遊びについて
- ・パートナーシップについて
- ・避妊や不妊治療など、次のお子様について など

命つなぐ、人つなぐ

# With Midwife

Midwifeは助産師という意味です。

「Mid」は古典英語で「With」を意味し、つなぐ、共に寄り添うという意味があります。WとMをリンクさせ、そんな相関関係を表現しました。

With Midwifeにはすべての人生に助産師が寄り添うことで、決して悲しい命をつくらないという強い意志が込められています。

あなたをサポートします。

「働きながら育児を楽しむ！応援プラン」のお申込みをお待ちしています。